

「SHINAGAWA TECH SHOWCASE」で アグリテックフレンドリーなまちをPRします

豊橋市は、「未来の農をつくる」と題し、農業イノベーション創出を目指すプロジェクト「TOYOHASHI AGRI MEETUP (豊橋アグリミートアップ)」を実施し、日本一「農業系スタートアップがサービス開発しやすく、応援されるまち」となることを目指しています。

この取り組みを首都圏でも PR するため、4月15日(水)～17日(金)の3日間、東京の品川インターシティ 屋外広場・アトリウムで開催される「SHINAGAWA TECH SHOWCASE (シナガワテックショーケース) 2026」にブース出展するとともに、トークセッションへ参加いたしますので、お知らせいたします。

■ イベント概要

1. 日時 令和8年4月15日(水) から4月17日(金) 17:30～21:00
2. 会場 品川インターシティ B1 階 屋外広場・アトリウム (東京都港区港南 2-15-1)
3. 主催 SHINAGAWA TECH SHOWCASE 実行委員会
4. 実施コンテンツ
 - ① 「見て楽しい」「触って楽しい」最新の体験型 technology の展示
 - ② 未来の technology を語りあうトークセッション
※ 4/16 開催の「つながる自治体 Innovation 会議 特別版 ～各地方が抱える地域課題の解決手法～」では、本市職員が登壇します。
 - ③ 企業を超えたコミュニケーションを誘発する飲食ブース
5. 公式サイト <https://shinagawa-tech-showcase.com/>
※ 右記二次元コードからでもアクセスが可能です。



1 豊橋技術科学大学とともにアグリテックフレンドリーなまちを PR します

- 本市の出展ブースでは、豊橋技術科学大学とともに進める、農業現場の“勘”をテクノロジーへ転換する取り組みについて紹介します。
- この取り組みは、豊橋技術科学大学が、本市や豊橋信用金庫と連携して、地域の農業と先端技術を融合させた「アグリビジネス共創拠点」の構築を目指すもので、科学技術振興機構（JST）の「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の未来共創分野に採択されています。

2 アグリテックコンテストの入賞企業のサービスも紹介します

- イベントには、サステナブルな食産業を支えるフードテックベンチャーも多く出展します。このため、本市出展ブースでは、食品エコ指標を可視化する取り組みを行っている、クオックロップ株式会社（令和4年度アグリテックコンテスト入賞企業）のサービスも紹介する予定です。

3 トークセッションで共創による地域課題解決の進め方を探ります

- 各地方が抱える地域課題をテーマに、自治体と企業がどのように連携できるのかを実践事例や自治体の生の声から紐解き、地域課題に向き合うための共創の進め方を掘り下げます。
- 豊橋市は、農業現場や市内企業の声を直接聞きながら、課題を起点に、民間と行政が一緒になって課題解決に取り組んでいる事例を紹介します。

（トークセッション概要）

- ・ 日時 4月16日（木）19:00～20:00（予定）
- ・ 登壇者 / 豊田市 東京事務所 所長 橋本 一磨 氏
宇都宮市 東京オフィス 間中 美徳 氏
堺市 東京事務所 羽田 貴史 氏
豊橋市 地域イノベーション推進室 首都圏担当 主査 桑原 裕明
- モデレーター / 株式会社エル・ティー・エス社会インフラ事業部
ソーシャルイノベーション推進室 鈴木 稔 氏

【SHINAGAWA TECH SHOWCASE とは】

「未来をデザインするテクノロジー」をテーマに、品川インターシティで開催されるイベントです。日本を代表する企業やスタートアップが集結し、ロボティクスやVR・AR、画像解析など、私たちの暮らしを変える、ちょっと先の未来を体感できます。また、トークセッションやフードテックのブースもあり、地域課題の解決や持続可能な社会の実現に関する議論も行われます。

問合せ先 産業部地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 0532-51-3155）

